

1 2.49 旋光度測定法

2 2. 装置及び測定 of 項を次のように改める.

3 2. 装置及び測定

4 旋光計は光源、偏光子、測定管及び検光子から構成される.

5 その測定は、通例、温度は20℃又は25℃、層長は100 mm、

6 光源はナトリウムランプの輝線スペクトルであるナトリウムD

7 線を用いて行う. 単色光源としては、水銀ランプの輝線スペク

8 トルを用いることもできる.

9 なお、適切な干渉フィルターを用いることによりナトリウム
10 D線に近い光線が得られるのであれば、キセノンランプ、タン
11 グステンハロゲンランプ、発光ダイオードなど、他の光源を代
12 替法として用いることができる.

13 2.1. 装置の正確さの確認

14 装置の目盛りは、旋光度測定用スクロースで調製した溶液の
15 旋光度を測定し、スクロース固有の比旋光度値が得られること
16 によりその正確さを確認する. 旋光度が確認され、かつ認証さ
17 れたSIトレーサブルな石英板を使用することもできる.

18

19